

---

## あかつき証券(株) 2024年3月期 第2四半期 決算説明

---

本資料は、2024年3月期第2四半期決算の業績等に関する情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は2023年9月末日現在のデータに基づいて作成されております。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

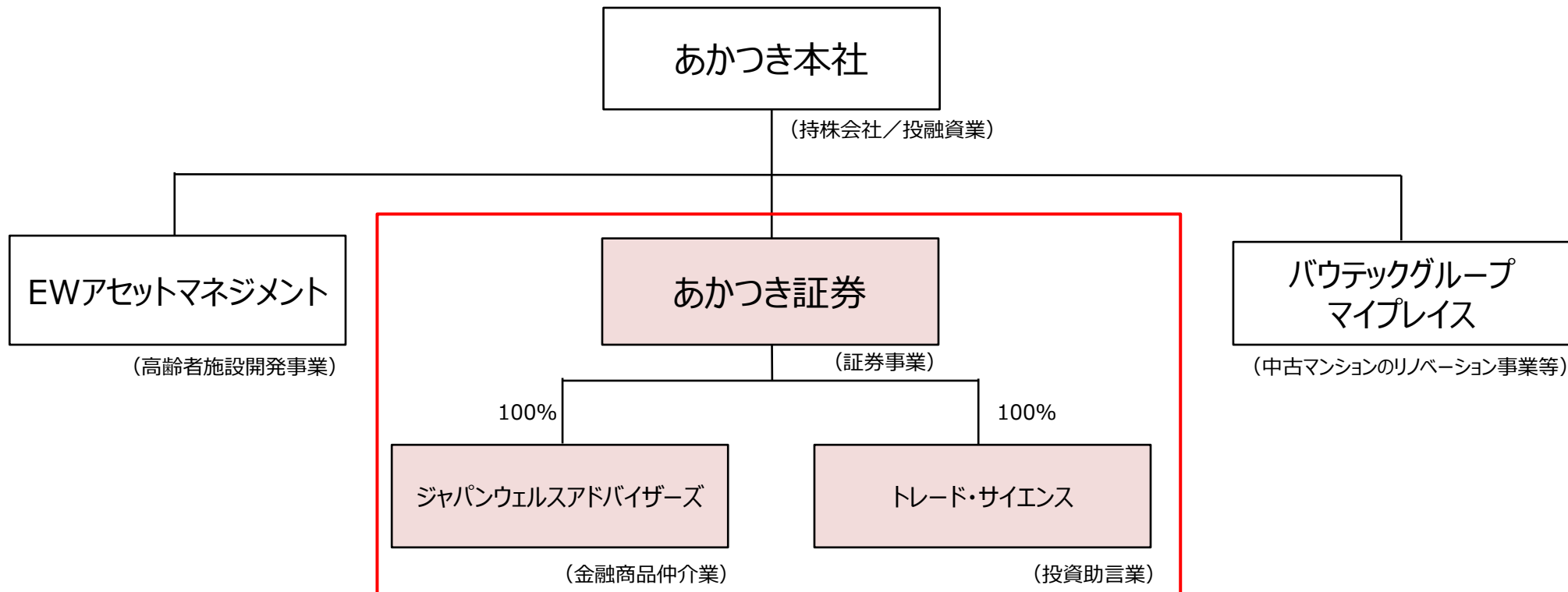
---

## 1. 2024年3月期 第2四半期 決算概要

---

## ◆（参考）連結対象について

### ■ あかつき本社グループ構成図（2023年9月末現在、主要グループ会社のみ記載）



#### あかつき証券連結範囲

- ✓ 2020年3月に当社100%子会社「ジャパンウェルスアドバイザーズ株式会社」が金融商品仲介業者として営業活動を開始。
- ✓ 2021年2月にグループ会社の「トレード・サイエンス株式会社」を完全子会社化。

## ◆2024年3月期 第2四半期決算の概要（連結ベース）

- ✓ 預り資産残高※は4,669億円（前期末比+16.7%）、IFA部門の預り資産残高は2,625億円（同+21.6%）と、いずれも過去最高となった。顧客からの入出金庫額（顧客から当社への入金と入庫の金額から、出金と出庫の金額を差し引いたもの）は350億円の純増と順調に増加している。また、契約仲介業者外務員数も1,528名（同+81名）と増加した。
- ✓ 営業収益は6,788百万円（前年同期比+39.1%）となった。株券委託手数料および投資信託販売手数料の増加により受入手数料は2,901百万円（同+84.4%）、トレーディング損益は3,825百万円（同+16.8%）となり、増収となった。
- ✓ 販売費・一般管理費は5,960百万円（前年同期比+21.7%）となった。この内、IFAへの支払報酬など収益に連動して増減する変動費が4,442百万円と前年同期比33.1%増加した一方、固定費は1,518百万円と前年同期比2.7%減少した。
- ✓ 営業利益は780百万円（前年同期比+811百万円）、経常利益は963百万円（同+963百万円）、当期純利益は662百万円（同+646百万円）となり、大幅な増益となった。

※ 預り資産残高は、当社の預り資産残高と、子会社のジャパンウェルズアドバイザーズ株式会社の提携金融機関における管理資産残高の合計となっております。

---

## 2. 2024年3月期 第2四半期決算（連結）について

---

## ◆ 営業損益の状況

- ✓ 当社100%子会社の金融商品仲介業者であるジャパンウェルスアドバイザーズ株式会社、トレード・サイエンス株式会社を含む連結ベースでは、営業収益6,788百万円（前年同期比+1,908百万円 +39.1%）、営業利益780百万円（同+811百万円）、当期純利益662百万円（同+646百万円）となった。
- ✓ マーケット環境の好転に加え、取引インフラの強化や商品ラインアップの拡充により収益構造の多様化を進めるとともに、継続的に経費を見直した結果、前年同期比、増収増益となった。

(単位：百万円)

	2023年 3月期2Q	2024年 3月期2Q	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
営業収益	4,879	6,788	39.1%	1,908
純営業収益	4,866	6,740	38.5%	1,874
販売費・ 一般管理費	4,897	5,960	21.7%	1,062
営業利益	△31	780	-	811
経常利益	0	963	-	963
特別損益	△0	△0	-	0
税引前当期純利益	△0	963	-	964
法人税等合計	△16	301	-	318
当期純利益	16	662	-	646

(単位：百万円)

2023年3月期				2024年3月期	
第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期
2,355	2,523	2,239	2,474	3,155	3,632
2,352	2,513	2,235	2,467	3,128	3,612
2,470	2,427	2,211	2,283	2,754	3,205
△117	86	23	183	373	406
△97	98	23	181	450	513
△0	△0	△33	△7	△0	△0
△97	97	△10	174	450	513
△49	32	4	57	145	156
△48	64	△15	116	305	357

※ 増減率について、当四半期、前年同四半期の一方若しくは両方がマイナスとなる場合や、増減率が1000%以上となる場合は「-」と記載しております。

## ◆受入手数料の内訳

- ✓ 受入手数料は、2,901百万円（前年同期比+1,328百万円 +84.4%）と大幅増収となった。
- ✓ 株券委託手数料は、1,970百万円（同+1,020百万円 +107.4%）と倍増した。募集・売出手数料は、投資信託販売の増収（同+287百万円 +120.6%）により、628百万円（同+294百万円 +88.4%）と増加した。

（単位：百万円）

	2023年 3月期2Q	2024年 3月期2Q	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
受入手数料	1,573	2,901	84.4%	1,328

委託手数料の主な内訳				
株券	949	1,970	107.4%	1,020

募集・売出手数料の主な内訳				
債券	92	100	7.6%	7
投資信託	238	525	120.6%	287

その他の受入手数料				
信託報酬	73	127	72.0%	53
アドバイザー報酬	10	-	-	△10

（単位：百万円）

2023年3月期				2024年3月期	
第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期
716	857	981	1,125	1,439	1,462

438	511	640	771	1,011	959
-----	-----	-----	-----	-------	-----

43	49	10	20	63	36
102	135	148	153	221	304

31	42	42	49	51	75
-	10	-	13	-	-

## ◆トレーディング損益の内訳

- ✓ トレーディング損益は、3,825百万円（前年同期比+551百万円 +16.8%）と増収となった。
- ✓ 外国株式の販売高が増加したことで株券トレーディング損益が535百万円（同+466百万円 +671.8%）と大幅に増加した。債券トレーディング損益は3,143百万円（同△24百万円 △0.8%）と横ばいとなった。仕組債の販売体制の整備に伴い、仕組債の販売高が前年同期比△41.1%減少したが、外貨建て債券の取扱銘柄数拡大等により利便性を向上させたことで、販売高は前年同期比+227.2%増加しており、仕組債販売の減少を補った。

(単位：百万円)

	2023年 3月期2Q	2024年 3月期2Q	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
株券	69	535	671.8%	466
債券・為替等	3,204	3,290	2.7%	85
（債券等）	3,168	3,143	△0.8%	△24
（為替等）	36	146	302.7%	110
合計	3,274	3,825	16.8%	551

(単位：百万円)

2023年3月期				2024年3月期	
第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期
29	39	55	205	293	242
1,597	1,607	1,186	1,125	1,391	1,898
1,578	1,589	1,176	1,097	1,310	1,833
18	17	10	28	80	65
1,627	1,646	1,242	1,330	1,684	2,140



## ◆部門別純営業収益推移

### 【リテール部門】

- ✓ 部門収益は1,314百万円(前年同期比+376百万円 +40.1%)となった。主な内訳として、株式売買手数料が801百万円(同+47.8%)、債券トレーディング損益が279百万円(同+55.0%)、投信販売手数料が163百万円(同+41.7%)といずれも増収となった。米ドル建て債券の小口化販売の浸透や、投資信託買付キャンペーンの効果が表れた形となった。

### 【IFA部門】

- ✓ 部門収益は5,094百万円(前年同期比+1,259百万円 +32.8%)となり、うち、株式売買手数料が1,775百万円(同+210.9%)、投信販売手数料が484百万円(同+150.8%)、債券トレーディング損益が2,755百万円(同△21.6%)であった。債券トレーディング損益のうち、外貨建て債券のトレーディング損益は1,508百万円(+239.6%)であった。投資信託、外国株式、外国債券の銘柄拡充や、外国債券売買システムの提供開始などにより、幅広い商品において収益が拡大した。

(単位：百万円)

	2023年 3月期2Q	2024年 3月期2Q	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
純営業収益	4,866	6,740	38.5%	1,874
リテール	938	1,314	40.1%	376
IFA	3,835	5,094	32.8%	1,259
その他	90	331	267.8%	241

(単位：百万円)

2023年3月期				2024年3月期	
第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期
2,352	2,513	2,235	2,467	3,128	3,612
452	486	490	542	677	637
1,856	1,979	1,691	1,789	2,313	2,781
43	47	53	135	137	194

※IFA部門とリテール部門の内訳は、2022年4月の当社とジャパンウェルスアドバイザーズ株式会社との組織改編を反映しております。

## ◆販売費・一般管理費

- ✓ 販管費は、5,960百万円（前年同期比+1,062百万円 +21.7%）と増加した。
- ✓ 増収に伴い変動費が1,105百万円増加した一方で、販促費の見直し、及びオフィスの移転・集約等に伴い固定費は△42百万円減少した。

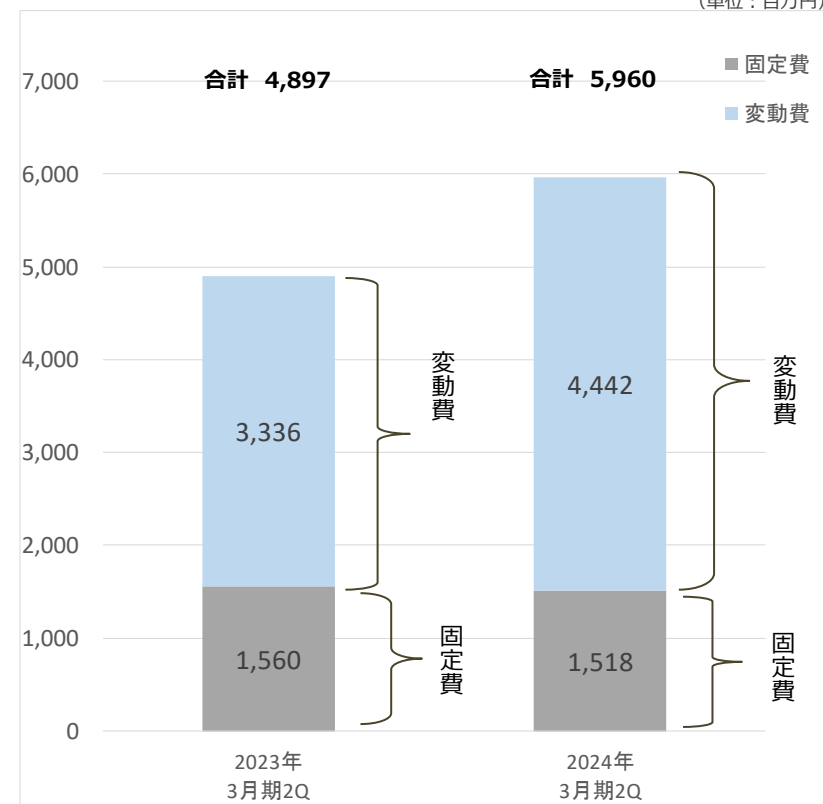
(単位：百万円)

	2023年 3月期2Q	2024年 3月期2Q	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
取引関係費	3,103	3,874	24.9%	771
人件費	1,183	1,380	16.6%	196
不動産関係費	218	193	△11.4%	△24
事務費	276	388	40.6%	112
減価償却費	55	48	△11.5%	△6
租税公課	27	43	56.0%	15
雑費その他	33	31	△5.6%	△1
販売費・一般管理費計	4,897	5,960	21.7%	1,062

(単位：百万円)

	2023年 3月期2Q	2024年 3月期2Q	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
固定費	1,560	1,518	△2.7%	△42
変動費	3,336	4,442	33.1%	1,105

(単位：百万円)



## ◆貸借対照表

- ✓ 資産は現金・預金が6,143百万円、預託金が4,262百万円増加したこと等により前期末より11,227百万円増加した。
- ✓ 負債は預り金が5,879百万円、短期借入金が4,900百万円増加したこと等により10,564百万円増加した。
- ✓ 純資産は四半期純利益の増加により、662百万円増加し、7,198百万円となった。

(単位：百万円)

	2023年3月期	2024年 3月期2Q	前年度末比 増減額
流動資産	25,780	36,930	11,150
現金・預金	4,331	10,474	6,143
預託金	15,537	19,800	4,262
信用取引資産	4,039	4,464	425
その他流動資産	1,871	2,191	319
固定資産	1,412	1,488	76
資産合計	27,192	38,419	11,227

	2023年3月期	2024年 3月期2Q	前年度末比 増減額
流動負債	20,139	30,716	10,577
信用取引借入金	3,444	2,516	△927
預り金	14,177	20,057	5,879
短期借入金	100	5,000	4,900
受入保証金	1,123	1,180	57
その他流動負債	1,294	1,962	668
固定負債	489	477	△12
特別法上の準備金	27	27	-
負債合計	20,656	31,221	10,564
純資産	6,536	7,198	662
株主資本	6,526	7,189	662
新株予約権	9	9	-
負債純資産合計	27,192	38,419	11,227

## ◆自己資本規制比率の状況

	2022年3月期				2023年3月期				2024年 3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
自己資本規制比率(%)	457.0	453.2	475.2	468.3	457.5	456.4	462.0	428.7	412.2	416.2
控除後自己資本	5,026	5,055	5,104	4,958	4,743	4,852	4,835	4,917	5,215	5,503
リスク相当額	1,099	1,115	1,073	1,058	1,036	1,063	1,046	1,146	1,265	1,322
市場リスク相当額	50	53	23	24	20	7	8	78	78	112
取引先リスク相当額	104	109	95	86	84	121	103	140	234	204
基礎的リスク相当額	944	953	955	948	931	934	934	928	952	1,005

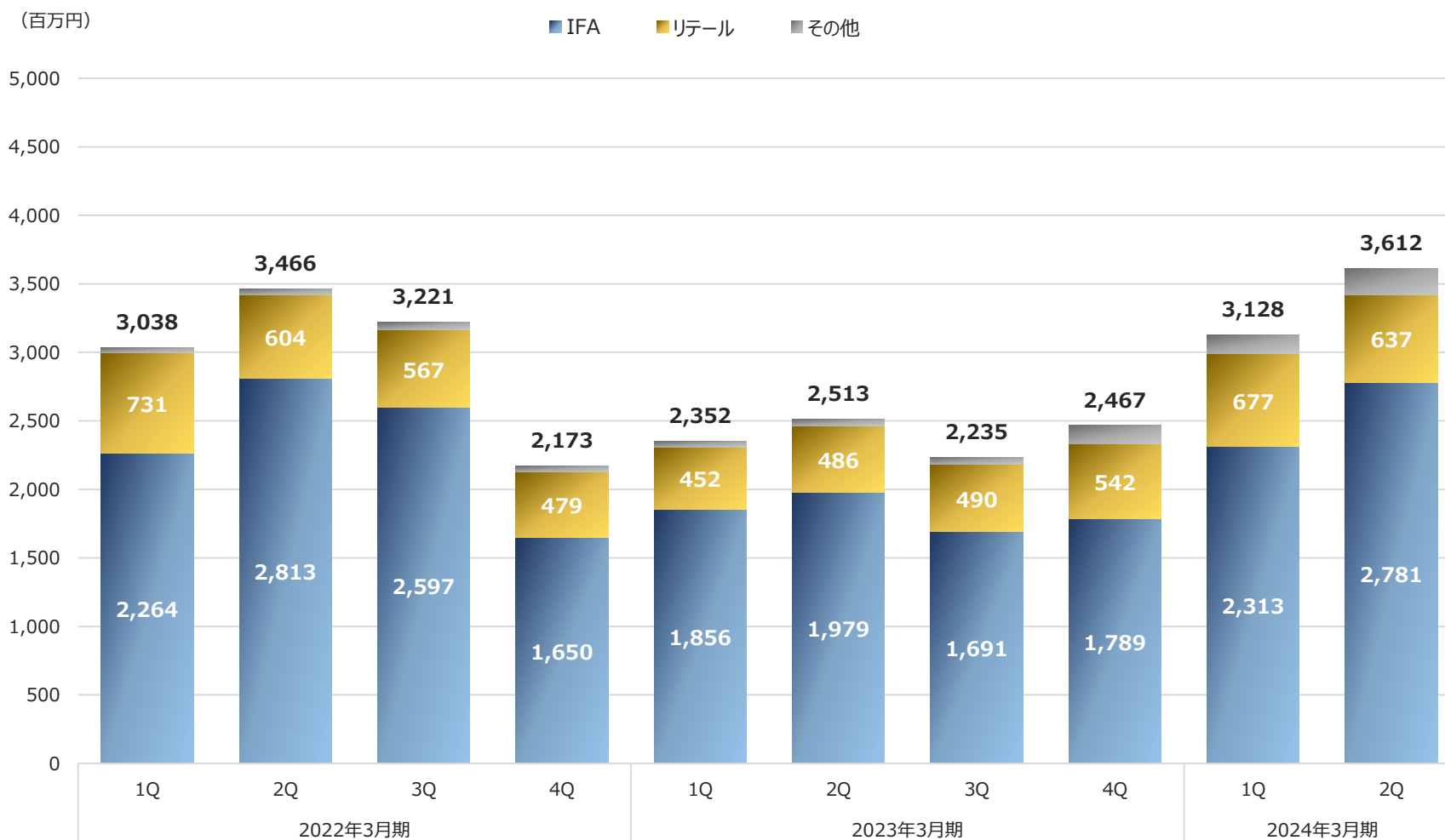
---

### 3. 業績の推移について

---

## ◆純営業収益の推移（部門別）

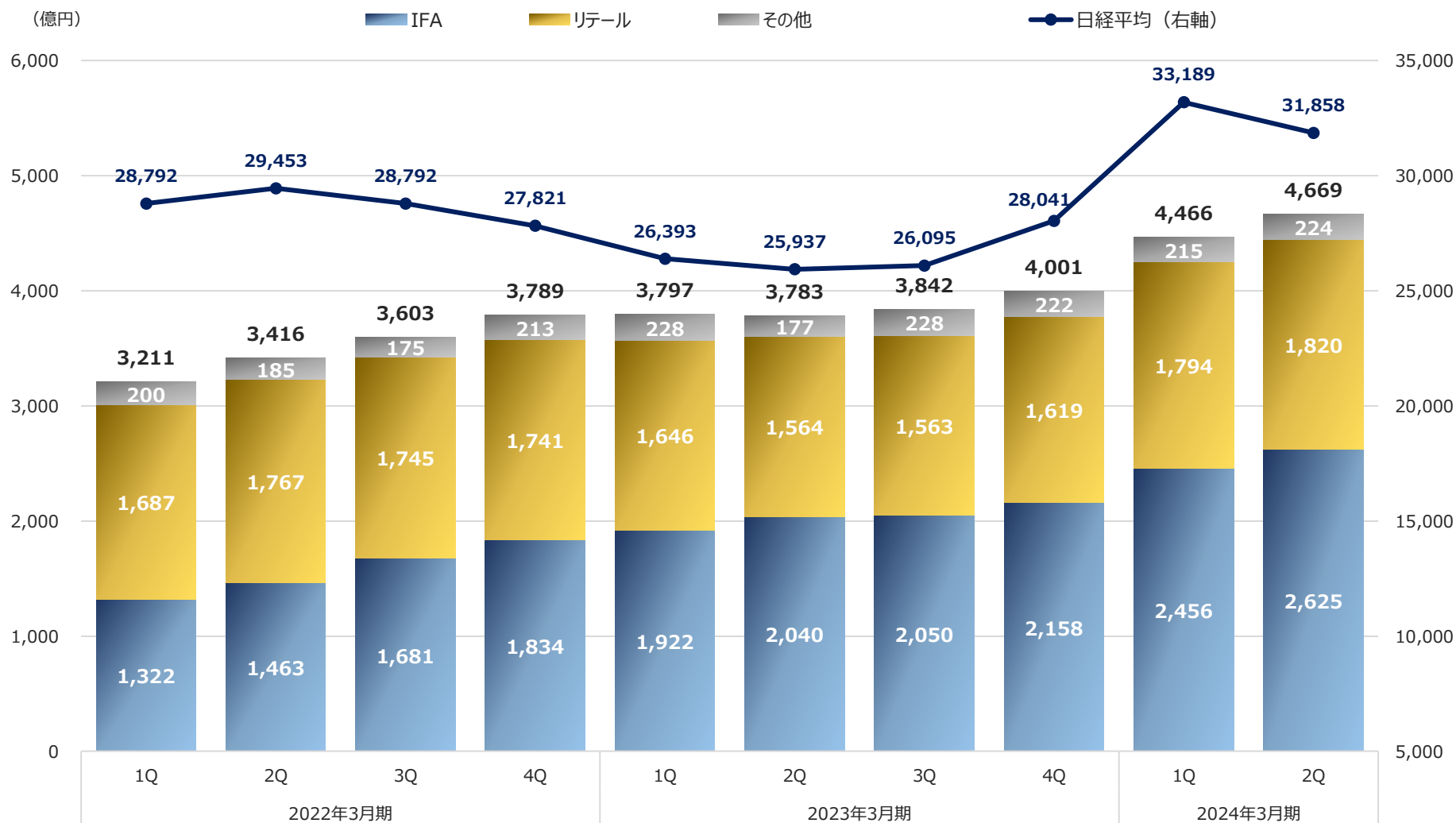
- ✓ 当第2四半期における当社の純営業収益は3,612百万円となり、継続的に取引システムの強化や商品ラインアップの拡充を進めた結果、IFA部門の収益が堅調に拡大したことで、前四半期比で増収となった。



※IFA部門とリテール部門の内訳は、2022年4月の当社とジャパンウェルスアドバイザーズ株式会社との組織改編を反映しております。

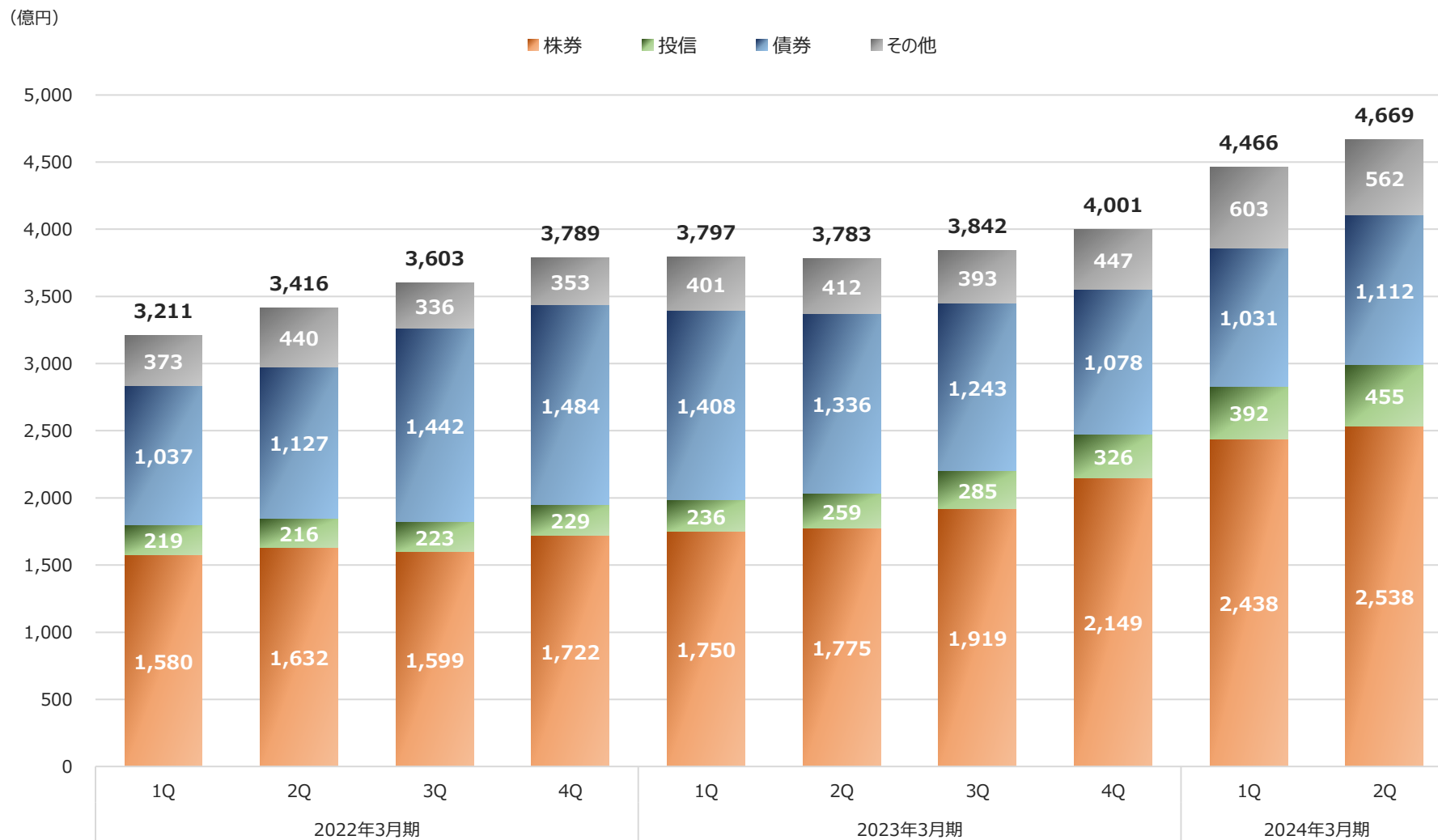
## ◆ 預り資産残高の推移（部門別）

✓ 預り資産残高は、4,669億円となり過去最高を更新。IFA部門の伸びにより堅調に推移している。



※ 預り資産残高は、当社の預り資産残高と、子会社のジャパンウェルズアドバイザーズ株式会社の提携金融機関における管理資産残高の合計となっております。  
 IFA部門とリテール部門の内訳は、2022年4月の当社とジャパンウェルズアドバイザーズ株式会社との組織改編を反映しております。

## ◆ 預り資産残高の推移 (商品別)

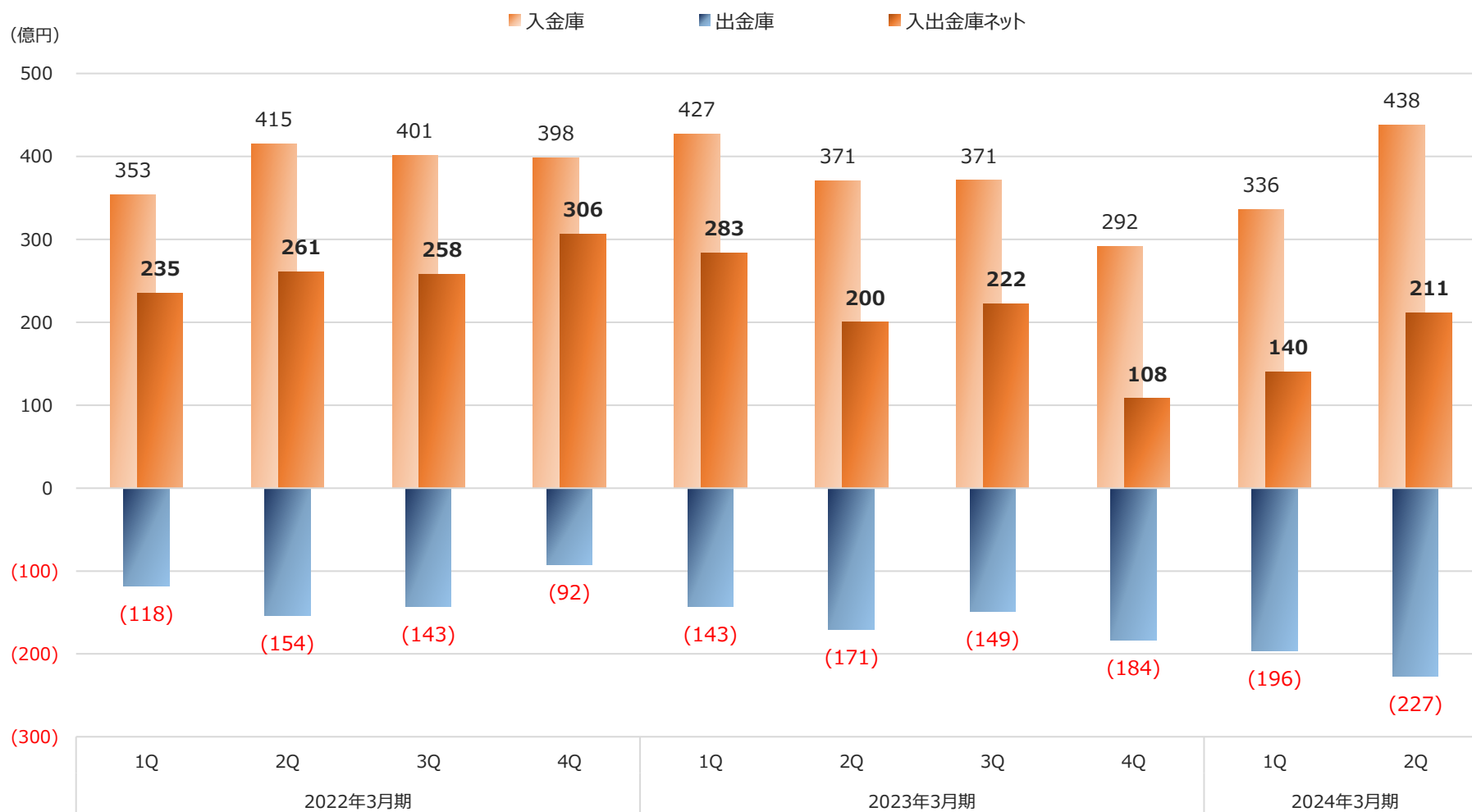


※ 預り資産残高は、当社の預り資産残高と、子会社のジャパンウェルスアドバイザーズ株式会社の提携金融機関における管理資産残高の合計となっております。



## ◆入出金庫額の状況

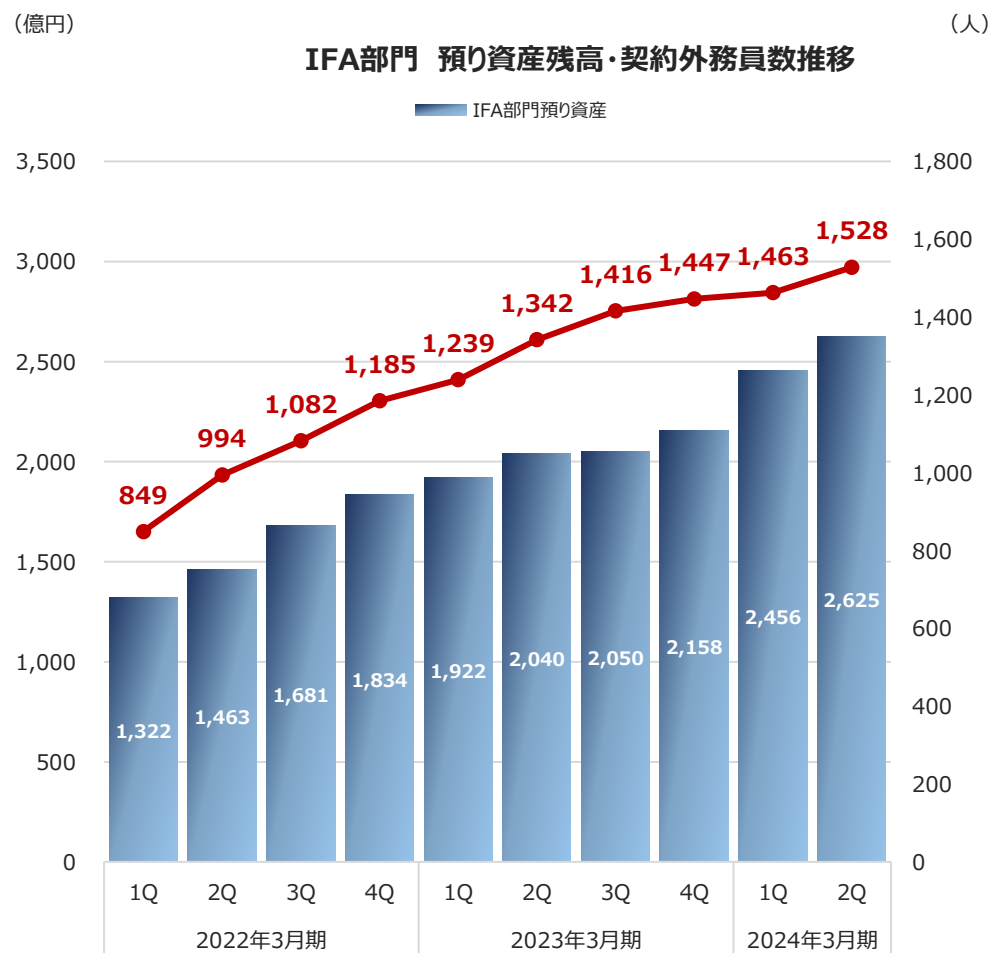
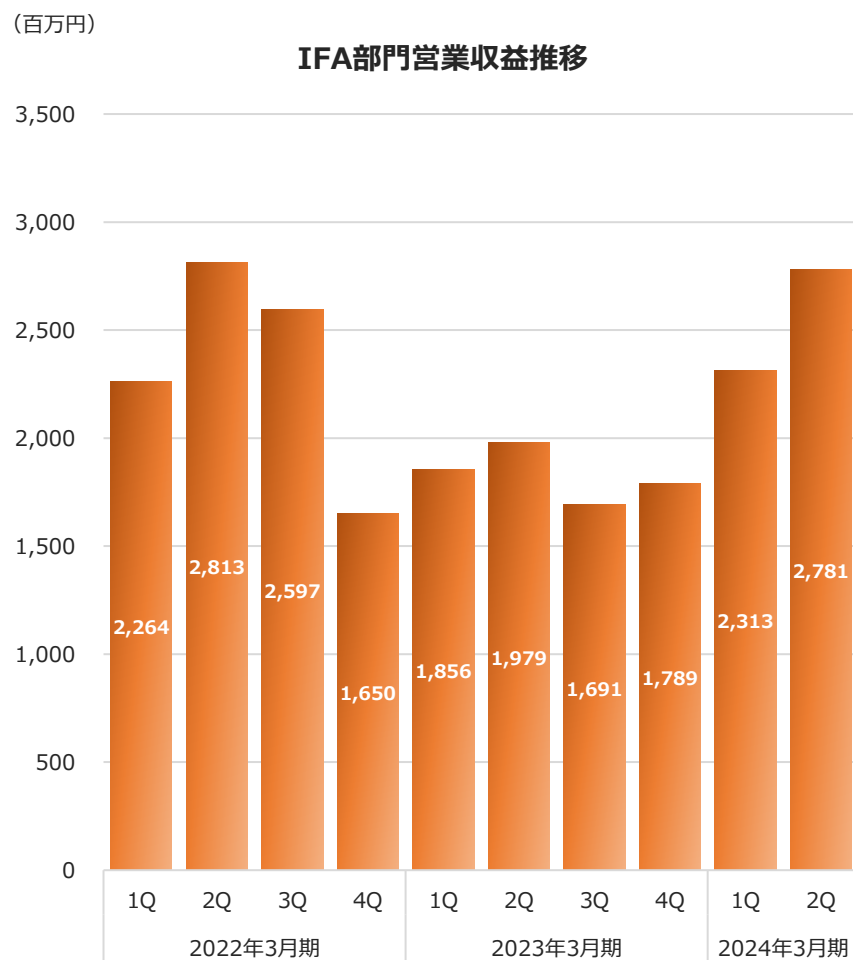
✓ 当第2四半期における入金庫額は438億円となり、四半期における過去最高の入出金庫額となった。



※顧客から当社への入金と入庫の金額から、出金と出庫の金額を差し引いたもの

## ◆金融商品仲介（IFA）ビジネスについて

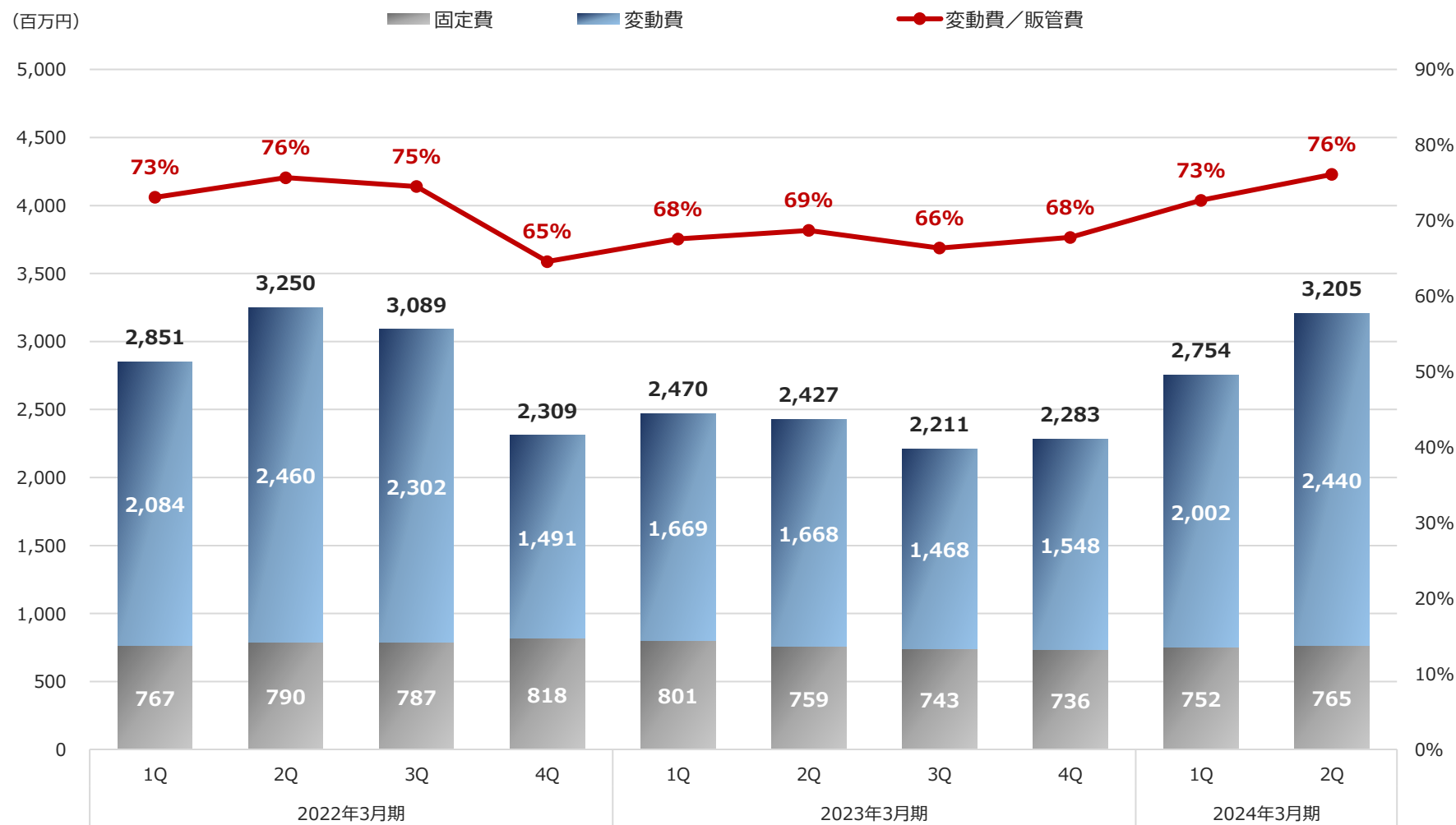
✓ 当第2四半期のIFA部門の営業収益は2,781百万円。（前四半期比+468百万円）契約仲介業者外務員数は1,528名（同+65名）、IFA部門預り資産残高※は2,625億円（同+169億円）と順調に拡大している。



※預り資産残高は、当社の預り資産残高と、子会社のジャパンウェルズアドバイザーズ株式会社の提携金融機関における管理資産残高の合計となっております。  
IFA部門の実績は、2022年4月の当社とジャパンウェルズアドバイザーズ株式会社との組織改編を反映しております。

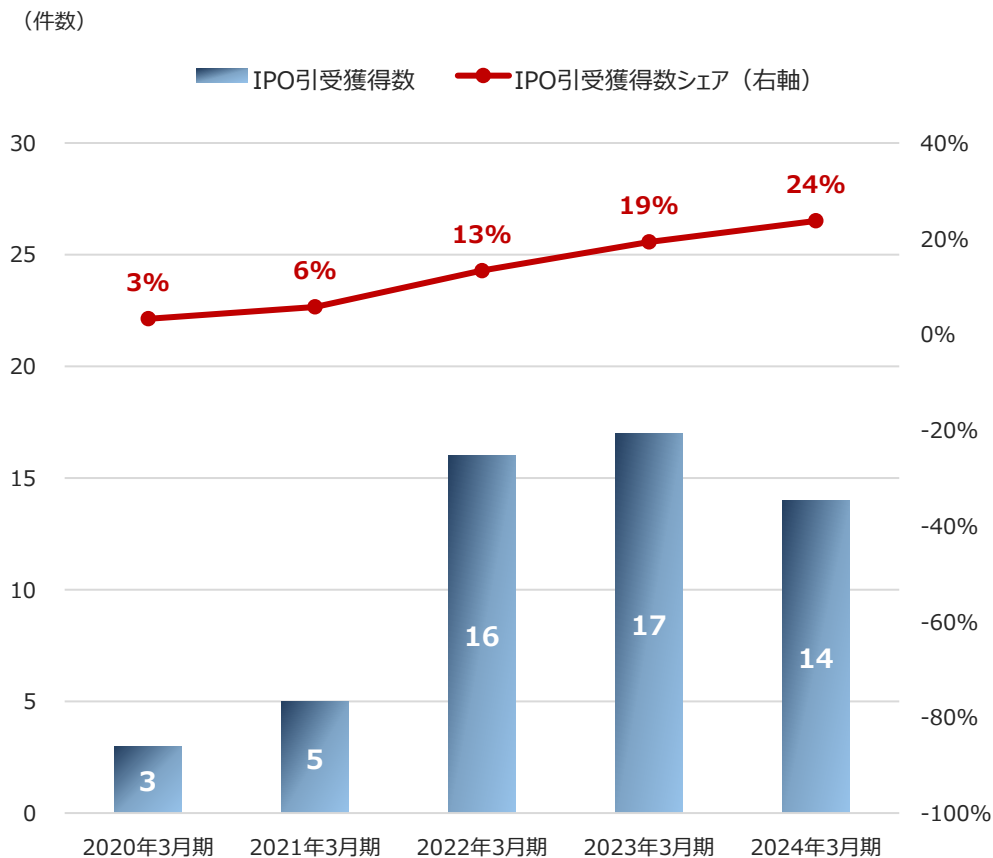
## ◆ 販管費及び販管費に占める変動費の割合

- ✓ 当第2四半期における当社の販管費は3,205百万円、販管費に占める変動費の割合は76%と引き続き高水準を維持しており、安定的な経営構造の確立を図っている。



## ◆IPO市場への取り組み

✓ 当第2四半期は市場全体で59社が新規株式公開し、うち当社獲得件数は14社、当社シェアは24%と前期比+5%上昇となった。



IPO引受獲得数ランキング 2023年4月～9月

順位	引受会社	件数	シェア
1	SBI証券	55	93%
2	松井証券	42	71%
3	楽天証券	35	59%
4	マネックス証券	34	58%
5	SMBC日興証券	34	58%
6	岡三証券	29	49%
7	野村証券	28	47%
8	みずほ証券	28	47%
9	岩井コスモ証券	25	42%
10	大和証券	25	42%
11	三菱UFJモルガンスタンレー証券	16	27%
12	極東証券	15	25%
<b>13</b>	<b>あかつき証券</b>	<b>14</b>	<b>24%</b>

※日本取引所グループ公表資料をもとに当社作成

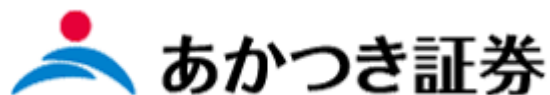
## ◆本資料に関して

---

本資料は、2024年3月期第2四半期決算の業績等に関する情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料は2023年9月末日現在のデータに基づいて作成されております。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。



本 社：東京都中央区日本橋小舟町8-1  
商 号 等：あかつき証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第67号  
加入協会：日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

お問い合わせ先：あかつき証券株式会社 財務経理部  
TEL：03-5641-7800  
URL：<https://akatsuki-sc.com>